

一般質問通告書

多可町議会議員 河崎 一 様
多可町議会議員 山口 邦政



平成26年3月13日

受領 午前 8時55分 午後

| 質問の項目及び要旨 | 答弁を求める者 |
|--|---------|
| 1. 鳥獣害対策にテキサスゲート設置を | 町長 |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 現在までの金網柵の設置集落数、総延長距離、総工費はいくらかかっているのか。 ② 国道・県道・町道・集落道にこのような構造物を設置することは可能か。 ③ テキサスゲートを設置する際に国・県・町の補助金の対象とならないのか。 ④ 今後テキサスゲートの設置を奨励していく考えはないか。 | |
| 2. どのような産業振興策で町の活性化をはかるのか | 町長 |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 企業誘致の3町合併後の成果と今後の展望は。 ② 町内における民間事業所数と雇用者数の合併時と現在の推移は。 ③ 6次産業化を目指す中、特産品開発事業の成果は。(グループ数、雇用者数等) ④ 合併後どのような産業振興策を行ってきて、今後どのように産業振興策を行っていくのか。 | |
| 3. | |
| | |

☆ 一般質問の通告期限は3月14日(金)午後0時00分までです。
質問要旨はできるだけ詳細にお願いいたします。

質 問 の 内 容

1. 鳥獣害対策にテキサスゲート導入を。

鳥獣害被害、特にシカ・イノシシの被害は町内の各集落において発生しており、住民が心を込めて生産してきた農作物を一夜にして食い荒らし多大な被害をもたらしてきています。被害対策として町の補助を得てノリ網、電気柵、最近では金網策にて防御している現状です。金網策につきましては町内でも半数近くの集落で整備されてきて、一定の成果を収めていると認識しています。

ところが、どうしてもノリ網・金網柵などでも侵入防止をはかれない場所があります。具体的には国道・県道・町道などで峠越え、トンネルなどにつながる道路で、清水坂トンネルの取り付け道路のある鳥羽、清水、轟、山口。峠越えのある三谷、岩座神。山野部坂トンネルがある山野部、八千代の坂本。天神トンネル、桑坂トンネル、八千代トンネルの出入口の集落などは車の通行台数に関わらず柵にて遮断してしまうわけにはいきません。せっかく金網等で防御をしても道路を遮断していない箇所からのシカ・イノシシ等の侵入で農作物被害につながってしまうケースが多発しています。

そこで打開策としてテキサスゲートの導入を提案します。このゲートは道路上の4mほどに深さ30cmの溝をつくり、その上にグレーチングを施工するものです。このグレーチングの溝によりシカ・イノシシ等は足元の不安定さから侵入してこなくなると言われています。山口県農林総合センターなどにより研究が進められてきて、山口県・滋賀県などで設置が進められてきています。兵庫県でも森林動物センターで研究開発が進められ、平成23年度には朝来市山東町で設置されており有効な手段とされています。

そこで、

- ① 現在までの金網柵の設置集落数、総延長距離、総工費はいくらかかっているのか。
- ② 国道・県道・町道・集落道にこのような構造物を設置することは可能か。
- ③ テキサスゲートを設置する際に国・県・町の補助金の対象とならないのか。
- ④ 今後テキサスゲートの設置を奨励していく考えはないか。

以上4点についてお答えください。

2. どのような産業振興策で町の活性化をはかるのか。

町長は施政方針の中で「第1次産業の農林業、第2次産業では繊維産業が主体の地域であり、零細事業所が多く、事業収益や雇用者所得の伸び悩みや低下が続いています。また就業機会に恵まれないことから、実生産年齢人口が他の地域より早く始まったのではないかと、とも考えられます」と地域経済の現状認識を示されています。

26年度予算書をもても多可町の税収は19億5千万円と歳入合計の16.7%と低い水準になっています。いかにして税収を増やすかは町長が町政の基調のサブテーマにあげておられる「持続可能な多可町：安全・安心の基盤づくり」につながる課題であると思います。

税収を増やすための施策は産業振興をどうはかっていくかにかかっており、明確な産業振興策をたてる必要があると考えます。

そこで、

- ① 企業誘致の3町合併後の成果と今後の展望は。
- ② 町内における民間事業所数と雇用者数の合併時と現在の推移は。
- ③ 6次産業化を目指す中、特産品開発事業の成果は。(グループ数、雇用者数等)
- ④ 合併後どのような産業振興策を行ってきた、今後どのように産業振興策を行って行くのか。

以上、4点についてお答えください。